

<刊行に寄せて>

本年度も無事に『フマーナ』を刊行することができました。玉稿をお寄せ下さいました3名の先生方に、厚く御礼申し上げます。

昨年9月に下鴨キャンパスに移転して丸1年が経過し、移転当初のような大きな問題も少なく、比較的落ち着いた1年となりました。東側に建設中の資料館の完成も間近の様ですので、来年度は学術・文化・芸術の中心を形成する北山ゾーンが本格的に稼働することになり、京都府知事の構想も一段落を迎えることでしょう。

さて、本年度最大のイベントは、2015年11月30日～12月4日にかけて行われた医学教育国際認証評価の受審ではないでしょうか。本学全体の医学教育に関する精査が8名の外部委員により行われ、教養教育に関わっては下鴨キャンパスの視察や授業見学、教員2名及び1年生2名とのインタビュー調査が実施されました。12月4日に口頭で述べられた暫定評価では、3大学共同化による教養教育をはじめとして、お蔭様でこれまでの教養教育に関して高い評価をいただきました。正式の評価文書は、年度末をめどに作成されるとのことですが、今後はそこで指摘された課題への対応が求められることとなります。今回の査察にご協力いただきました先生方には、ご尽力に心より感謝申し上げます。

また、本学は2003年度より大学院重点化大学として位置づけられて参りましたが、これまで教養教育に所属している3教室（人文社会学教室・数学教室・第1外国語教室）は、大学院主科目には含まれていませんでした。来年度からは総ての教室が大学院主科目に組み込まれることになり、真の意味で大学院大学化が完了することとなります。

人事に関しては、2015年3月末日をもって人文社会学系教室教授の棚次正和先生が定年でご退職になり、名誉教授になられました。棚次先生の長年に渡りますご尽力に、改めて深謝申し上げます。またその後任として、瀬戸山晃一教授が4月1日付で着任されました。教室名も医学生命倫理学と変更され、新しいスタートを切っております。教養教育部長も、小野勝彦教授から愚生が引き継がせていただいております。先生方をはじめ事務の方々にも様々な面でお力添えを賜り、ようやく今年度を乗り切っているという感じです。皆様方のご協力に深謝しつつ、次年度も何卒宜しく願い申し上げます。

木塚雅貴

編集委員

人文・社会科学教室 瀬戸山晃一

(Koichi SETOYAMA)

第一外国語教室 木塚雅貴

(Masataka KIZUKA)

数学教室 長崎生光

(Ikumitsu NAGASAKI)

物理学教室 上原正三

(Shozo UEHARA)

化学教室 鈴木孝禎

(Takayoshi SUZUKI)

生物学教室 小野勝彦

(Katsuhiko ONO)

STUDIA HUMANA e t NATURALIA 49 (非売品)

平成27年12月11日 印刷

平成27年12月18日 発行

編集兼 京都府立医科大学医学部医学科 (教養教育)

発行者 代表者 木塚雅貴

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5

教養教育共同化施設「稲盛記念会館」

電話(075)703-4921

印刷所 (株) 田中プリント
